



健やか山梨21シンボルマーク

「健やか山梨21－2008年版－」の概要

「健やか山梨21」
とは

- 県民の健康づくりの指針となる県の健康増進計画（平成13年策定、平成18年改定）
- 「一次予防に重点をおいた健康づくり施策を強力に推進することにより生活習慣病の予防、健康寿命の延伸を図り、県民一人ひとりの豊かな人生を実現すること」が目的
- 「栄養・食生活」をはじめとする10の健康課題を設定し、取り組みの方向性、数

平成20年度からの医療制度改革等を踏まえ、計画を改定

改定の
背景

医療制度改革に
要な柱の一つに位
が義務付けられた。

主な改定
の
内容

- 1 旧計画の健康
 - ・ 内臓脂肪型肥
 - ・ 特定健康診査

- 2 計画の期間は
【旧計画の終期

健康課題

「現状と課題」と 「取り組みの方向性」

1 総合課題

- 健やか山梨21の認知率(37%)を高める
- 健康寿命日本一の維持

計画の浸透及び健康増進のために
必要な考え方の普及

- ・ 「健やか山梨21」の普及
- ・ メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の正しい知識の普及
- ・ 地域・職域保健連携の推進
- ・ 健やか山梨21推進会議構成団体との

2 栄養・食生活

- 野菜摂取量の減少
- 脂肪摂取量の超過
- 食塩摂取量の超過

豊かで健康的な食生活の実現

- ・ 食育の推進
- ・ 健康的な食生活のために必要な情報の提供
- ・ 食事バランスガイドの普及
- ・ 自主活動グループによる食生活改善活動

5 たばこ

- 禁煙・分煙施設認定数は1145施設(H19.12月末)
- 喫煙経験のある中高生の存在
- 20歳代の男女の喫煙率が高い

防煙、分煙、禁煙対策の推進

- ・ 禁煙・分煙施設の増加
- ・ 防煙教育の推進
- ・ たばこの害の普及啓発
- ・ 禁煙支援の実施

6 アルコール

- 多量飲酒者の増加
- 適正飲酒についての知識の普及が不十分
- 飲酒経験のある中高生の存在

適正飲酒の定着

- ・ 未成年者に飲酒をさせない環境づくり
- ・ 妊婦の飲酒防止のための普及啓発
- ・ 適正飲酒の普及啓発
- ・ アルコールの害についての知識の啓発

7 歯及び口の健康